

Agnes

平安女学院広報誌 アグネス



- 裏千家の千玄室大宗匠と「教育協定」を締結
- 大学・短大とも就職率100%を達成
- 2014年度、高校に「幼児教育進学コース」を新設
- 日本棋院、関西棋院より、山岡理事長・学長に
囲碁五段免状を贈呈

Agnes vol.68 August 2013

平安女学院広報誌 アグネス 発行/学校法人平安女学院 〒602-8013 京都市上京区烏丸通下立売西入 TEL.075-414-8155(法人本部)

大学 OPEN CAMPUS

就職率100%の女子大を
じっくり見学!

8/25(日) 9/23(月・祝)
10/27(日) 11/17(日)
12/22(日)

●11:00~16:00(12/22のみ11:30~17:00)
●11/17は高槻のみ開催



ミニ体験授業/学部学科説明/みんなでランチ/入試・学生生活個別相談
キャンパスツアー/学生によるウェルカムイベントなどを予定。
詳細はホームページをご覧ください。

SINCE 1875



平安女学院大学

入学センター
TEL 075-414-8108 <http://www.heian.ac.jp/>
E-mail admission@heian.ac.jp



中学校 高等学校 OPEN SCHOOL

未来の自分をイメージできる新コースを体感!

9/7(土) 9:30~12:00
文化祭と同時開催

学校紹介・入試問題解説・個別相談

- 授業見学会 9/28(土)
- 中学校説明会・プレテスト 10/26(土)・11/9(土)
- 高校説明会 11/16(土)
- 中高入試相談会 11/30(土)・12/7(土)・14(土)・21(土)
- クリスマス行事見学会 ... 12/21(土)



SINCE 1875



平安女学院中学校・高等学校

入学センター
TEL 075-414-8101 <http://www.jh.heian.ac.jp/>
E-mail stagnes-hj@heian.ac.jp

「コンパクト・グッドネス大学」の旗手として 大学連合の組織化に向けて取り組みます

学校法人 平安女学院
理事長・学院長・大学学長

山岡 景一郎



皆様もご存知の通り、本学院は昨年、茶道裏千家千玄室大宗匠を名誉理事長にお迎えしたのに続き、本年3月には、大宗匠との間に「教育協定基本合意書」を結び、裏千家との緊密な連携を進めております。

具体的には、2013年4月より、大学の国際観光学部及び子ども学部において、茶道の授業「伝統文化論(茶道)」を必修科目としてカリキュラムに配置し、併せて「平安女学院大学 伝統文化研究センター」を設置しました。

京都・高槻両キャンパスに新しく設けた茶室(教室)では、学生が茶道を通じて、女性らしい所作を身につけながら、日本(京都)文化への理解を深めています。今後も、平安女学院の教育目標である「貴品女性」の育成を目指し、様々な取り組みを推し進めて参ります。

本学院のように、個性的で有能な人材を育成し、社会に輩出している小規模大学を、私は「コンパクト・グッドネス大学」と呼び、それらの小規模大学が結束して日本の高等教育の質的変革を担えるよう、連合体の組織化に向けて取り組んでいます。また、この活動によって、ますます平安女学院の社会的地位を固め、未永く発展できる磐石の土台を築きあげたいと思っています。

目標は高く、まだまだ道半ばではございますが、皆様のご支援を頂きながら気を緩めることなく邁進していく所存です。

また、保護者の皆様をはじめ、卒業生、その他多数の方々から、日頃より学院の教育方針にご賛同頂き、ご支援・ご尽力を頂いていることに對し、誌面を借りまして、心より厚くお礼申し上げます。

裏千家 千玄室大宗匠と 山岡理事長・大学学長が 「教育協定」を締結

3月27日(水)、茶道裏千家 千玄室大宗匠(本学院名誉理事長)と山岡理事長・大学学長は、伝統文化のさらなる発展と学術・教育・文化の発展のための「教育協定」を交わしました。



保育科では、一年次から選択科目として茶道の授業を履修できるようになりました。
「伝統文化論(茶道)」を四年間履修して優秀な成績を修めれば、茶道指導者としての資格と「学校茶道指導者適格書」を取得することができます。特に子ども学部では、小学校・幼稚園教諭の免許とともに、「茶道を教えられる先生」という新たな魅力がプラスされます。

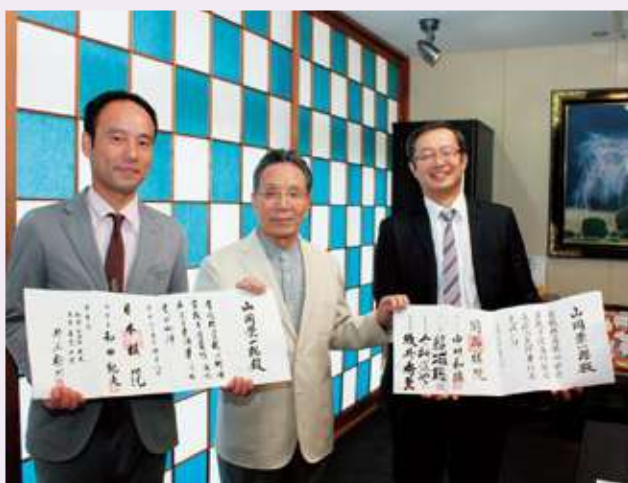


今年度から、大学で茶道を必修化協定に基づき、本年度から大学では、カリキュラムに「伝統文化論(茶道)」を一年次必修科目として配置しました。また、短期大学部

日本棋院、関西棋院より 山岡理事長・学長に 囲碁五段免状を贈呈

この度、山岡理事長・学長が、日本棋院、関西棋院より、それぞれ五段の認定を受けました。それに伴い、7月8日(月)、理事長室において、山岡理事長・学長への日本棋院、関西棋院の五段免状贈呈式が行われました。

贈呈者として、公益財団法人日本棋院から、日本棋院常務理事の後藤俊午九段、一般財団法人関西棋院から、関西棋院常務理事の今村俊也九段(本学文化創造センター客員教授)が来学され、山岡理事長・学長に、それぞれ五段免状を手渡されました。



京都観光経営トップセミナーで講演



京都市と京都大学の連携プロジェクトの一環である「京都観光経営トップセミナー」が、1月15日(火)に京都大学で行われ、山岡学長が講演しました。

参加者の多くは、京都で観光業の経営に携わる方々で、山岡学長は、京都が誇る文化や伝統、具体的なイベント誘致事例等を交えながら、話を進めました。

山岡学長の大胆かつ柔軟な発想と軽妙な語り口に、参加された皆さんは終始興味深く耳を傾けておられました。最後に質疑応答の時間もあり、90分の持ち時間があっという間に過ぎました。

京都府職員研修会で講演



5月31日(金、ルビノ京都堀川で、「京都府新任管理者研修会」が行われました。

今年度より新しく京都府の部長、課長等になられた約110名の方々に對して、山岡学長が、「魅力ある上司とは」という演題で「様々なタイプの職員に対する接し方・管理方法や、「組織にとって必要とされる管理者になるために」など、具体例を挙げながら60分間にわたって講演しました。

山岡学長の実体験に基づく講演内容に、参加者の皆さんはメモを取りながら熱心に耳を傾けておられました。

裏千家の幹部の先生方を招聘し「伝統文化研究センター」を設立

伝統文化の振興・発展のための事業を推進し、本学学生や一般社会人の方々が茶道を積極的に学び体得するための環境づくりを目指す目的で、所長・関根宗中先生（教授）・倉斗宗寛先生（客員教授）をはじめ裏千家の幹部の先生方をお招きして、新たに「伝統文化研究センター」を設立しました。



昨年に引き続き囲碁の女流名人戦が開催されました

3月13日（水）、第二十五期囲碁女流名人戦三番勝負 第一局 謝依旻（しえいみん）女流名人・奥田あや三段」が有栖館で開催されました。序盤から激しい展開を繰り広げ、謝依旻女流名人が一六三手で奥田あや三段に中押し勝ちし、六連覇を達成しました。

有栖館だより

咲き誇る枝垂れ桜と美しいバイオリンの音色 「晴天に恵まれた「花宴」」

3月30日（土）、山田啓三京都府知事、門川大作京都市長、野中広務元内閣官房長官をはじめ、各界で活躍されている著名な方々をお招きし、有栖館で花宴を催しました。

枝垂れ桜が満開に咲き誇る前庭で、eRikaさんのバイオリン、大奈さんの歌が、宴を大いに盛り上げてくれました。お集まり頂いた200名を超える多くの方々は、終始和やかな歓談を繰り広げられ、楽しい雰囲気満喫された様子でした。



対戦後の懇親会の席上、謝女流名人から「昨年もここで勝ったので、京都には良い思い出があります」、奥田三段から「来年もここで打ちたいです」と、それぞれメッセージを頂きました。



翌14日（木）には明治館で、対局者と本学学生との交流会が行われました。トークタイムで、お二人は休日の過ごし方などを話され、参加した学生からは同年代ならではの質問が飛び出し、大いに盛り上がりました。その後、「指導書を



京都御所の一般公開に合わせて今年も「春の特別公開」を実施

恒例となった有栖館特別公開を、今春も「京都御所春季一般公開」に合わせ、4月4日（木）～4月8日（月）に行いました。

今年は枝垂れ桜の花びらが舞う中での公開となりました。ご来館になった大勢の方が、公家屋敷の面影や小川治兵衛氏の庭を堪能されました。中には、浜田泰介画伯が描かれ、本学院にご寄贈頂いた日本画「有栖館の桜」のことを知り、実物の桜を見たいと来館された方もおられました。



行って頂き、最後には全員で記念撮影をしてお開きとなりました。

創立138周年記念式典で浜田画伯ご寄贈の絵画の除幕式を執り行いました

1月21日（月）、アグネスホールにおいて、「創立138周年記念式典」を開催しました。

厳粛な雰囲気のもとでの第二部記念礼拝に続き、祝賀会が行われました。祝賀会冒頭、山岡理事長より「日本画家の浜田泰介画伯から、絵画『有栖館の桜（八〇号）』を学院にご寄贈頂きました」と報告があり、登壇された浜田画伯ご夫妻とともに除幕式を執り行いました。山岡理事長は浜田画伯ご夫妻に対して、感謝の言葉とともに記念品を贈呈しました。浜田画伯は「有栖館の見事な桜をどうしても描きたかった」と、絵画制作への熱意を述べられました。

続いて、永年勤続者表彰とアグネス賞各賞の表彰式が和やかなうちに行われ、受賞者からは謝辞と今後の抱負などが語られました。



「枝垂れ桜」

青大門と一体となって美しい景観を見せてくれる枝垂れ桜は、京都で一番早く咲くといわれています。烏丸通から見れば一本に見えますが、実は二本の木が並んで花を咲かせています。

その昔、権勢を欲しいままにした太閤秀吉が醍醐で開いた、かの有名な『醍醐の花見』。有栖館の桜は、醍醐寺三宝院の実生の桜の孫桜で、1952年（昭和27年）3月、日本画の巨匠・堂本印象画伯の発案により、醍醐寺三宝院から移植されました。



どうして孫桜であることがわかったのでしょうか？じつは、大手の住友林業によるDNA鑑定の結果、判明したのです。なにやらこの枝垂れ桜、太閤さんの「あっぱれ！」の声が聞こえてきそうです。

大学の学び

毎週水曜日の午後の時間を利用した「レベルアップ・プログラム」では、京都の町を学ぶ巡見、秘書検定講座、研究発表、スプリングコンテスト、読書会、学生の交流イベントなどを行う予定です。

4月是一年生歓迎企画として、二条城まで歩きました。大学から歩ける範囲でさまざまな体験

今年度も、キャンパスの立地を活かした新しい取り組みをスタート

「地域に必要とされる大学」が求められる昨今、本学部では地域連携に力を入れています。昨年度から始めた京都府旅館ホテル生活衛生同業組合青年部会との連携事業は、2年目を迎えます。今年は1年生が中心となって、宿泊プランの企画コンペに挑みます。

2年生は、京都府の補助金も受けて、「京都府庁旧本館利活用応援ネット」などと協力し、京都府庁周辺の観光ガイドマップの作成を中核に据えた、地域連携事業に取り組んでいます。

昨年度の「宿泊プランの企画コンペ」に続き、地域連携のフィールドをさらに拡大

「地域に必要とされる大学」が求められる昨今、本学部では地域連携に力を入れています。昨年度から始めた京都府旅館ホテル生活衛生同業組合青年部会との連携事業は、2年目を迎えます。今年は1年生が中心となって、宿泊プランの企画コンペに挑みます。

夏休みに研修生を、また次年度より交流留学生を受け入れます。

「語学留学コース」の2年生16名が、4月からアメリカで、留学生生活を送っています。本学の創立者ミス・エレン・G・エディの出身校セント・メアリーズ・カレッジをはじめ、5つの学校に留学しています。

また今年度春学期は、ポルトランドのメルルハースト大学から1名の交流留学生を受け入れました。日本文化に関心が高い学生で、茶道や華道の授業も受講しています。

「観光ホスピタリティ・京都学コース」と「外国語特修コース」の2つのコースを設置します。「観光ホスピタリティ・京都学コース」は、京都の文化、観光学とホスピタリティビジネスを学びます。「外国語特修コース」は英語・中国語の運用能力を獲得し、国際的に活躍できる人材を目指します。

開設から8年目となる2014年度から、新コースを編成

本学部は開設から7年目を迎え、より教学を充実させて、社会に求められる人材の育成を進めるため、新コースの設置を核とした学部改革に着手しています。

次年度4月より、「観光ホスピタリティ・京都学コース」と「外国語特修コース」の2つのコースを設置します。「観光ホスピタリティ・京都学コース」は、京都の文化、観光学とホスピタリティビジネスを学びます。「外国語特修コース」は英語・中国語の運用能力を獲得し、国際的に活躍できる人材を目指します。



国際観光学部

就職率100%の実績を踏まえ、さらに高いレベルの社会的要請にこたえる教学改革に取り組んでいます。

3期生が卒業、観光・ホスピタリティ分野をはじめ幅広い分野の企業に100%の就職を達成

3期生が無事に卒業論文を提出し、学位授与式を終えました。おかげさまで就職率100%を達成することができました。就職先は観光・ホスピタリティ分野や地域の有力企業・老舗企業などです。

入れ替わりに61名の新入生が入学。宿泊オリエンテーション・履修ガイダンスなどを経て、初めての授業に臨みました。1年生は全員、今年度から必修となった茶道の授業も受講しています。

16名の学生が語学留学、新たに台湾の大学とも協定を調印するなど、国際交流も一層盛んに

中国語圏の大学との交流も進んでいます。中国の3大学に加え、台湾の長栄大学との交流協定を締結。3月に山岡理事長・大学学長が現地に赴き、調印式を行いました。同大学からは、



中国語圏の大学との交流も進んでいます。中国の3大学に加え、台湾の長栄大学との交流協定を締結。3月に山岡理事長・大学学長が現地に赴き、調印式を行いました。同大学からは、

大学の学び

本年2月8日(金)に平成24年度教職課程認定大学実地視察の大学実地視察の結果が、文部科学省初等中等教育局から公表されました。

本学部では、「高槻市教育委員会と十分な連携を取り、小学校教諭の教職課程においても実習校を高槻市内の公立小学校に確保している点について、評価できる」と評価され、「幼稚園教諭及び小学校教諭の両課程において、全ての実習校で、巡回指導を行っている点も評価できる」、「高槻市教育委員会と積極的に連携を進めているほか、高槻市子ども未来部とも連携を進めている点について評価できる」との評価を受けました。

「平成24年度教職課程認定大学実地視察」の評価結果で、本学部が高評価を獲得

⑤教職課程指導室・保育実習指導室のスタッフとゼミ担任が内定まで総力をあげてバックアップ。この他にも、キャリア形成につながる支援を順次行ってきました。

このように、本学部では、一人ひとりの学生の夢や希望に応じたキャリア形成を支援。入学直後から内定獲得までさまざまなプログラムを用意し、夢の実現に向けてサポートしてきました。今年度も、この方向で力を入れることを、学部全体で確認し合い、ますます活発に取り組む体制を整えています。

模擬面接の実施

教育・保育・福祉をあわせると全体の91%の学生が、取得した教員免許と保育士資格を活かした専門的・技術的職業に内定しています。残る9%の学生が一般企業に内定しました。

91%が教員免許と保育士資格を活かした専門職に

内定者のうち、小学校が16%、幼稚園が19%、あわせて教職が35%を占めました。特筆すべきは、小学校教諭希望者全員が公立小学校に内定できたことです。

小学校教諭希望者が100%、小学校に内定

本学部は、2012年度に完成年度を迎え、第1期生の全員が、今春、就職しました。とりわけ教員・保育士への夢をもつ学生が全員、目標を達成できました。

2012年度、子ども学部1期生は100%の就職率を達成

子ども学部

4年間で見つけた未来——夢を現実——
一人ひとりの希望や適性に応じた指導で
未来の実現につなげる

入学直後から、一人ひとりの学生の夢や希望に応じたキャリア形成を支援

100%の就職率を達成できた理由の一つが、学生の就職への意識の高さです。就職活動に臨む学生の、高い意識と就職希望率を支えているのが、一人ひとりの希望や適性に応じたきめ細かな就職指導体制です。キャリアサポートセンターでの進路相談や就職指導、さらには就職ガイダンスなどによって、学生の夢の実現に向けて、段階的にきめ細かなキャリア形成の支援を行ってきました。

子ども学部独自の具体的な支援としては

- ①教員になるための5つの資質能力基準を分類し、到達点を明らかにして成長するシステムによる4年間の指導
- ②教員・保育士採用選考試験対策講座の開催
- ③現職教員を講師に招いての教職セミナーの開催
- ④公立学校教員採用選考試験を目指す学生のための小論文指導・模擬授業・実技試験対策

また、「全ての学生が、1年次から、幼稚園または小学校へのインターンシップを経験するようにしており、教職を志す学生に対して早い段階からの教職への意識付けに努めている様子が窺われた」こと、「いつでも学生が教職について相談等を受けられる環境が整備されていた」等、全般にわたって良い評価を受けました。

今後さらに、教職課程の質的水準の向上に向け、教員養成の理念、設置の趣旨等をふまえて教職指導体制の、より一層の充実を図って参ります。



短大の学び



6月5日(水)、1年生は保育所実習に向けて、高槻市の公立保育所へ3グループに分かれて見学に行ってきました。

集合場所から保育所へは、引率の方法を学習

体験的な学び

5月25日(土)に開催された第4回両キャンパス合同運動会では、1年生が水色、2年生が紺色と、学年によって色分けした学科独自のボロシャツを着て、大縄跳び、玉入れ、太玉運び、パン食い競争、綱引き、リレーに汗を流しました。

クラス担任制と少人数教育

保育科では、学生に、より細やかな指導ができるよう、クラス担任制を実施しています。また、少人数教育を実施することで、一人ひとりを大切に、保育者になるための知識や技術の習得ができるよう指導を行っています。2年生に対しては、施設実習の成績を踏まえた個人面談や、これからの幼稚園教育実習、保育所実習、社会福祉施設実習に向けた相談を、一人

1921年に保育科の前身である保母部が設置されて今年で92年になります。この保育教育の歴史を通じて、今まで多くの卒業生が巣立っていきました。現在、これらの卒業生が保育者として活躍している園や施設が数多くあるおかげで、学生が実習園や適性に合った就職先を自由に選択でき、昨年度も、保育科の就職率は100%でした。

昨年度も就職率は100%

短期大学部 保育科

92年を迎えた保育教育の歴史。多くの卒業生のおかげで実習園や就職先に恵まれ、学生たちは「目指す保育者像」に向かって真剣に学びに取り組んでいます。

ひとりに行っています。

保育科の団結力を示した運動会



しながら交通安全に配慮して移動しました。保育所では、保育所の概要について所長より講義を受け、所内を見学しました。多数の学生にとって初めての保育所見学であり、保育所の実際について学ぶ良い機会となりました。

幼稚園教育実習の事前指導では、手遊びや歌などの知識や技能だけでなく、どのような保育者であるべきかという「目指す保育者像」について学んでいます。

保育科は、創造的思考力や実践能力を身につけるために、自ら体験し活動することを重視しています。そのため、子どもたちが豊かな創造力を身につけることができる「カプラ遊び」や、音楽にあわせて子どもたちのダンスをみながら踊る「運動遊び」など、学科独自のプログラムを実施して、学生自身にさまざまな経験をしてもらうようにしています。

恵まれた自然環境を活かし
創造力や実践力を育んでいます

高槻キャンパスは、自然豊かな環境の中で保育を学ぶことができるのが魅力です。本年度は、キャンパス内の花壇や畑にチューリップやヒマワリなどの花を栽培したり、サツマイモやジャガイモなどの野菜を育てたりしています。

また、高槻キャンパスの構内や隣接する自然観察林で、植物の観察や自然に対する体験を通して、保育に関連する想像力や実践力を学んでいます。



2013年3月の卒業生 全学で就職率100%を達成！

2013年3月卒業生の就職結果が確定しました。毎年就職率100%を継続している短期大学部保育科、昨年95.3%、昨年97.5%と高い就職実績を挙げた国際観光学部、今年初めての卒業生が巣立った子ども学部が、それぞれ肩を並べて就職率100%を達成しました。国際観光学部は、観光系をはじめ、メーカー、金融、流通、サービス業など幅広い分野へ就職、また子ども学部は全就職者の大半が小学校教諭、幼稚園教諭、保育士などの資格を必要とする専門職に就いています。

これはまさに「嫉」「心得」「愛」を身につけた「貴品女性」を目標に、一人ひとりのキャリアプランの実現に向け、少人数教育と手厚い個人指導を行っている本学の教育の成果の表れといえます。

山岡学長が標榜する「コンパクト・グッドネス大学」の魅力を最大限に活かしたキャリア指導も、就職率100%に大きく貢献しています。リクルートメイクアップや身だしなみ、エントリー指導、面接対策トレーニング、個別面談、個別相談のほか、数多くの著名企業との協力による本学単独での「企業セミナー」や「ビジネスインターンシップ」も、学生たちにとって力強いバックアップとなっています。

子ども学部の初めての卒業生も そろい、晴れやかに卒業式を挙行

3月21日(木)、高槻キャンパスのウィリアムスホールで、「平安女学院大学第10回卒業証書・学位記授与式」「平安女学院大学短期大学部第62回卒業証書・学位記授与式」を厳かに挙行しました。学長自ら、一人ひとりに卒業証書・学位記を手渡しました。卒業生は、保護者の方々に見守られながら、授与された卒業証書・学位記を手に、晴れやかな表情で赤絨毯を踏みめました。

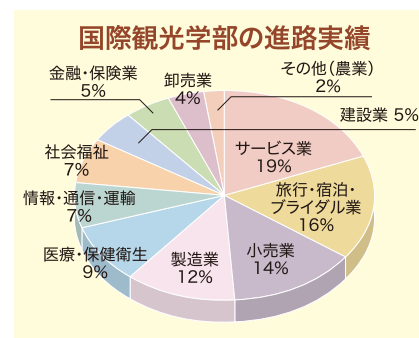


また子ども学部では、公立小学校教諭を目指す学生向けに「教員採用選考試験対策講座」「夏季集中セミナー」を開講するなどの手厚いサポートを行っています。

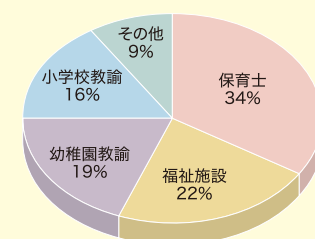
主な就職先

国際観光学部

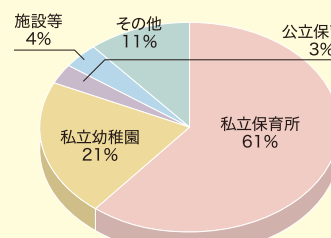
エイチ・アイ・エス／遠鉄百貨店／京都銀行／京都第一赤十字病院／京都中央農業協同組合／近畿日本ツーリスト／摂津水都信用金庫／武田病院グループ／大和リゾート／鶴屋吉信／南都銀行／ぶどうの木／ミキハウス／郵便局／ローム ほか



子ども学部の進路実績



短期大学部保育科の進路実績



子ども学部
大阪市小学校教諭／京都府小学校教諭／高槻市小学校教諭／大阪市幼稚園教諭／大津市幼稚園教諭／大阪市保育士／大津市保育士／高槻市保育士／高槻市児童保育指導員／光が丘幼稚園／親愛幼稚園／山崎幼稚園／第二吉備保育園／野江まつのはな保育園／宇治徳洲会病院／高槻ともしび苑 ほか

短期大学部保育科

高槻市保育士／亀岡市保育士／茨木市の幼稚園／光徳幼稚園／永観堂幼稚園／神童幼稚園／相愛幼稚園／宝塚ふたば幼稚園／光の園たんぽぽ保育園／阿武山たつの子保育園／衣笠保育園／ポリス保育園／浦堂保育園／ミード保育園／大冠保育園 ほか

※2012年度データ 国際観光学部は過去3年間
※「株式会社」等の呼称略・順不同。

卒業生は、大学生活で培った経験を糧とし、自信と誇りをもって、社会に巣立っていきましました。また、いつでも母校に顔を覗かせてくれることを、教職員一同願っています。



教職員や仲間とともに 思い出に花を咲かせた 卒業パーティー

3月22日(金)、ホテルグランヴィア京都で卒業パーティーが開催されました。卒業式でのアカデミック・ガウンから一転、この日は華やかに着飾った大学・短期大学部の卒業生が会場のホテルを彩りました。

卒業パーティーはそれぞれの学科ごとに、卒業企画を担当する学生が、趣向を凝らした企画を立て、当日の司会進行まで行います。世話になった先生や職員の皆さんと一緒に学んだ仲間たちと共に過ごした大学生生活の思い出に花を咲かせ、時間の経つのを忘れるほどでした。



ぽかぽか陽気の中 2013年度入学式

ぽかぽか陽気の4月1日(月)、大学・短期大学部の入学式を、京都キャンパスのアグネスホールで執り行いました。新入生を代表して国際観光学部浅田しずかさんが誓いの言葉を、また、在学生を代表して子ども学部八十嶋亜衣さんが歓迎の辞を述べました。

式典やガイダンス終了後には、満開を迎えた桜の下で、これからの学生生活を一緒に過ごす者同士、肩を並べて記念撮影が始まり、穏やかな門出の一日となりました。



活気に満ちた雰囲気で行われた 宿泊オリエンテーション

4月2日(火)・3日(水)は、滋賀県にある大津プリンスホテルで2013年度新入生活泊オリエンテーションを行いました。

学長の講話をはじめ、先輩学生たちによる大学紹介や工夫を凝らしたクイズ・出しものなど様々なプログラムが実施されました。

はじめは緊張気味だった新入生たちは、プログラムが進むにつれて緊張もほぐれ、教員・先輩学生とともに楽しく参加していました。会は、終始活気に満ちた雰囲気のうちに進行し、新入生



台湾の長栄大学と協定を締結、 夏には研修生を受け入れへ

本学はこのたび、台湾の長栄大学と「学術及び教育交流協定書」を取り交わしました。

3月4日(月)に山岡理事長・大学学長が同大学を訪問し、協定書に調印。陳錦生学長はじめ、大学幹部の皆さんから暖かい歓迎を受けました。長栄大学は台南市郊外にある学生数12,000人の総合大学で、本学と同じくキリスト教主義に基づく教育を行っています。

本学と同大学では、近々、長栄大学人文学院応用日語学系(日本語学科)の学生を研修生として受け入れるなど、教育・研究の交流を進めていく計画です。



学科・クラスの親睦を深めた 学生会主催の合同運動会

5月25日(土)、高槻キャンパスのグラウンドで、学生会主催による両キャンパス合同運動会を開催しました。当日は晴天に恵まれ、京都キャンパス・高槻キャンパスから、1・2年生をはじめ学生・教職員約380人が参加し、大縄跳びや綱引き、クラス対抗リレーなどの競技に取り組みました。

全員が協力して競技に参加することにより、学科・クラスの親睦をさらに深める、良い機会となりました。学生生活の大切な思い出のひとつとして心に残ることでしょう。



の新しい門出を祝うにふさわしいものとなりました。



山岡学長を迎え、温かい雰囲気の中、 聖アグネス寮退寮式・入寮式

2月8日(金)、聖アグネス寮の退寮式を行いました。寮礼拝堂にて、山岡学長はじめ教職員が参列する中、10名の退寮生を送り出しました。

また、新年度に際し、3月31日(日)に行った入寮式では、先輩の在寮生が教職員とともに新入寮生を温かく迎えました。新1年生をはじめ16名が新しく入寮した聖アグネス寮では、寮生が意義ある寮生活を過ごせるよう、寮生委員が中心となって、寮の年間行事をはじめスポーツ大会や誕生日会などの催しを企画・実施しています。



朝礼前の朝の時間を、これまでの英語を聴く「イングリッシュアワー」から「英・国・数・理または社の4教科の5分間テスト」にしました。

事前に指定した範囲の基本事項を学習して臨みます。満点がなかった者は、放課後の満点補習で再テストに挑みます。基本の徹底と自学の習慣づけが狙いです。中間審査まで16回行い、全校で、すべて満点だった生徒が4名、一度のミスを除いてクリアした生徒が12名いる一方、補習の常連となっている生徒も含めて半分以上の生徒が補習を受けた日もありました。

中間審査後、漢字間違いの場合は各自で何回か書くなど、一部で補習基準を緩和しました。補習になるかどうかではなく、満点を目指して力をつけてほしい、との思いです。同時に、十分に理解できていないことに気付いて、見直しの機会にもらいたいものです。基本の繰り返しやケアレスミスをなくす努力が、これから先の学習につながっていきます。



4月から、中学3年生は修学旅行先のグアムについて学習しています。まずは山口誠著「グアムと日本人」を全員で読み進め、それと平行して18のテーマのもと、グループに分れて調べ学習に取り組んでいます。それらの発表を通して、成果を全員で共有し、11月にはグアムへ向かう予定です。

秋のグアム修学旅行に向けて 事前学習（中学3年生）



生徒感想文より

グアムと聞いて、青い海と空、白い砂浜…みんなの憧れるリゾート地を想像していました。でも、現実には高校不足、停電や騒音など、多くの問題を抱えていることも知りました。楽しむだけでなく、その土地の問題についても学び、向き合っていきたいです。

昔、「大宮島」とよばれ「日本人捕虜収容所」があったと聞いて、ドキッとしました。2万人以上の日本人がこの土地で死んでいるのに、現在の私たち日本人はそれも知らずに、軽い気持ちで遊びに行っていると思うと、とても残念だと思いました。



中学校

多様な総合学習を通して「聞く・書く・話す・調べる・考える」力の育成を図っています。

「朝テスト満点補習」で 満点を目指す力を養成

昨年度の改革は、国際社会で活躍する上で必要とされる語学力を重視した教育改革と、高齢化社会で求められるキャリアに道を開く「医・歯・薬・看」を含む新コースの立ち上げ、常に「なりた自分」を目指してステップアップできるコース選択制の導入でした。

このたびの「幼児教育進学コース」創設は、言うまでもなく、少子化による労働力不足の中で、女性の労働力が期待される社会に必要なとなるキャリアを形成するための改革です。

ご存じの通り、昨年の出生数は過去最少の103万7千人でした。一方、第一子出産までに仕事を辞める女性が6割を超え、職場復帰の壁は保育所不足です。昨今問題になっている待機児童は潜在的には80万人を超えていると言われています。この事態に対して、国は財源



確保とともに、「認定子ども園」の立ち上げを掲げています。

改革の歩みを更に進展させるため、2014年度には新たに二つの取り組みを行います。一つは、高校での「幼児教育進学コース」の創設です。もう一つは、中学校入学試験の入試科目に英語科目を導入することです。これらの改革によって、「国際化、少子高齢化、男女共同参画社会」に必要なとされる能力を兼ね備えた女性の育成を目指します。

平安女学院の伝統を未来につなげる 新しい改革への挑戦！

中学入試への「英語科目」導入で ハイレベルな語学力を求める 生徒の夢を実現

「英語入試」の導入は、まさに時代の流れに沿っています。英語教育の低年齢化傾向は、小学校教育段階から更に幼児へと強まってきています。中学入学試験科目に英語科目を導入することにより、「英語の平文」のイメージをより鮮明化し、英語科が推進している「エキスパート・プロگرام」を充実させながら、英語の実力を伸長させる狙いです。

入学時点ですでに一定水準の英語力を身につけた生徒が、本校の優れた英語教育を受けることにより、将来、国際社会で活躍できることを目標にした改革です。

と願う生徒に確実にその道を開くことが必要です。また、幼児教育に携わる上で大切な「豊かな感性と表現力」を多感な高校時代から育むことは、専門的な知識・技能を習得する大学・短期大学の学びをより深める上で有効です。従って「入学時点から幼児教育に従事すること即ち『なりた自分』という自覚を持った生徒に学習の場を提供する目的で、日本一の「幼児教育進学コース」の創設・完成を目指します。そのため、カリキュラムの充実と豊かな学びづくりに励んでいるところです。この取り組みは、多くの保育士・幼児教育者を輩出してきた学院の伝統に新たな道を開くものです。

中学1年

年4回の農業実習をはさみ、「食といのち」の学習を行っています。

世界や日本の食糧問題の学習を通じて、食にまつわる社会問題や地球環境問題について考え、自らの食生活を振り返ります。実習と座学の両面から、感謝の気持ちを養うこともねらいの一つとしています。



中学2年

アグネス総合進学コースでは茶道・華道・囲碁の学習を行っています。多感で活動的なこの時期だからこそ、心を静め、伝統文化に向き合うことが貴重な経験となり、これを手がかりに日本文化への関心を高められればと考えています。一方、立命館コースでは、世界の子どもの現実を知る学習を行っています。



中学3年

アグネス総合進学コースでは、様々な仕事について調べたり、ゲストのお話を聞きながら職業知識を広げる学習を行い、未来の自分に向かってどのような進路を切り開くかを考えています。立命館コースでは、秋に来校する新姉妹校の学生に日本の紹介ができるよう、色々な分野について「調べ学習」を行っています。



高等学校

主体的に学習に取り組む力と習慣を身につけられるよう、様々なプログラムでバックアップ。

教養を広げ、知的好奇心を喚起する
「立命館大学・高大連携講座」

立命館大学との連携により、大学の知に触れて学問への興味や理解を深め、教養を広げて知的好奇心を喚起することを目標に授業をおこなっています。



新聞コラムを中心としたテキストなどを用いて時事の知識を身につけ、文章読解と要約などの能力向上を図っていきます。また、自らテーマを設定しての小論文作成や作文コンクールへの作品応募をはじめ、パワーポイントによるプレゼンテーションにも取り組んで、論理的思考力や表現力を養い、大学での学びに必要なスタディスキルを身につけていきます。

また、各学年でのテーマに沿って立命館大学から先生方にお越し頂き、出張授業や博物館などへのフィールドワークも実施しています。高校

自学自習スタイルの定着へ
今年度から新しい取り組みをスタート

今年度から、「自学自習タイム」として、中学生は午後8時、高校生は午後9時まで自主的な居残り学習が可能となり、毎日多くの生徒が学習に励んでいます。居残り学習は、五教科の教員が当番制で、生徒からの質問に対応しています。初めは居残りをする生徒の数も少なかったのですが、定期考査直前の学習ウィーク中には、学習室に入りきれず、急遽二階の図書学習室を開放しなければならぬほどの盛況ぶりでした。



リニューアルしたばかりの
府立体育館でのびのびと競技
6/7 体育祭

6月7日(金)に、京都府立体育館で体育祭を行いました。府立体育館で実施するのは今回で4回目となりました。土の上での競技も魅力的ですが、雨や熱中症などの心配をせず、心置きなく競技に参加できるのがいいところです。



体育祭は、高校3年生を中心に、各ブロックの生徒一人ひとりが主役となって、大活躍しました。そして競技が始まると、どの種目でも、自分の持てる力以上に、走り、跳び、踊り、また声を出して声援し、競技終了の笛が鳴るまで全力を出し切っている姿が感動的でした。生徒たちは、体育祭を通して仲間たちと協力することの大切さ、一つのことを成功させるための努力、一生懸命に取り組むことで味わえる達成感など、様々なことを実感することができたことでしょう。また、先輩の責任ある姿や懸命に頑張る様子を見て、自ら学ぶことが多々あったはずです。

勝利したクラス、負けてしまったクラス、練習の成果を発揮し、楽しく競技に臨んだクラスなど、結果はそれぞれでしたが、生徒の顔には、やり遂げた満足感と達成感が見られ、生徒一人ひとりが努力の姿を見せた体育祭でした。この経験と自信は、必ずや今後の学校生活に活かされるでしょう。

朝早くから、応援してくださった保護者の皆様には、心より感謝いたします。

「5・11被災地応援・祈りとしらべのつどい」で被災地への思いを共有

5月11日(土)、東日本被災地応援実行委員会、ボランティアクラブ、保護者会、チャプレン室、そして聖アグネス教会の共催で「被災地応援・





2013年度が始まりました。

今年度より、未就園児親子登園クラスを開始しました。幼稚園隣、大学の校舎の1階を保育室とし、『てんしぐみ』と名付けました。就園前の



未就園児親子登園クラス
「てんしぐみ」を開室しました

4月8日(月)に始業式、4月9日(火)に入園式を迎え、新年度がスタートしました。3歳児25名、4歳児29名、5歳児28名、合計82名の子どもたちが、毎日元気に通っています。入園当初は保護者から離れにくくて泣いていた子どもたちもいましたが、今は慣れてきて、元気いっぱい表情を見せてくれるようになりました。これからも賑やかな声が幼稚園中に広がるよう、十分に遊んでいきたいと思っています。

2歳児・3歳児の親子を対象に15組募集し、現在その15組の親子が毎週金曜日10時〜11時30分の時間帯に登園しています。歌や手遊びを楽しんだり、絵本を見たり、音楽に合わせて体を動かしたりしています。そして帰る前にはおやつを受け取り、ほっとした時間を過ごして降園しています。また、子どもたちが楽しく遊ぶことで、保護者の方同士のつながりも生まれています。



伊丹スカイパークへ行きました

春の遠足

伊丹スカイパークへ行きました

5月23日(木)、晴天の中、観光バス2台に分乗し、全員で伊丹スカイパークに遠足に出かけました。伊丹スカイパークは、飛行場の滑走路に隣接する公園なので、何機もの飛行機の離発着を見ることが出来ます。バスを降りて公園までの道を歩きながら、子どもたちは何度も足を止めて飛行機に見入っていました。遊具のあるところに着いてからは集合写真を撮り、お弁当を食べ、遊具で思い切り遊びました。さまざまな種類の飛行機を見ては、どこにいくのかなと行き先を考え、いろいろな国に思いを馳せた一日となりました。

特別ゲストとして来てくださった「スベルシンガー」の新井深絵さんによる魂を震わせる歌、中学三年生全員によるオリジナル応援歌の合唱、バイオリン演奏、福島からの避難者の生の声、被災地支援を続けておられる牧師のお話、保護者会によるコーラスと、内容は盛りだくさんで、2時間はあっという間でした。特に感動的だったのは、中学3年生の合唱です。コーラス部でもないのにその歌声の美しいこと、生徒一人ひとりの希望に満ちたキラキラした顔つき、そして高3の上原実果さん作曲の



祈りとしらすべのつどい』が、チャペルで行われました。あいにくの大雨でしたが、地域の方を含め、たくさんの方にご来場いただき、音楽の力を通して、今なお苦しみの中にある被災地の人々を想い、祈りを共にささげることができました。

キュリー夫人の物語を通して 未来への勇気と希望

6月8日(土)、京都こども文化会館で、中・高

将来に対する悲観的な見方の多い昨今ですが、「やっぱり人間って捨てたものじゃない、私たちは互いに助け合い助け合うために神さまから生かされている、そしてその中にごそ真の喜びがある」ということ、彼女たちの姿を通して再確認させられたひと時でした。私たちにできることはわずかもかもしれない。でも祈りの力を信じる学校であり続けたいものです。



すばらしい曲、知らぬ間に参加者の皆さんの頬に涙がつついていました。

男性が支配的であった「科学」というフィールドで活躍し、誰にも負けない努力と勇気をもつて常に前進していくマリ・キュリーの姿は、わが校の女子教育にとってふさわしい題材だと言えるのではないだろうか。本校の生徒たち、そして全ての子どもたちは、やがて彼女のように社会で活躍する人材となる可能性を秘めているのです。

芸術団体鑑賞を行いました。今年度は東京の劇団である青年劇場による演劇を鑑賞しました。演目は「キュリー・キュリー」。読者の皆さんもよくご存知の、あのキュリー夫妻の物語です。パリ物理化学学校の講師であったピエール・キュリーは、科学の探求に邁進する純粋な研究者でした。しかし、科学アカデミーの勲章と、儲けを産む実用的な研究を求める校長シュツに、一か月以内にアカデミーに公式発表できる研究成果を挙げることを求められてしまっています。そこで新しく研究室に参加したのが、のちのキュリー夫人であるマリ・スクロドフスカです。ロシアに支配された祖国ポーランドを逃れ、研究を続けるため、はるばるパリまでやってきたのです。

金銭的な窮乏、不穏な社会情勢、アカデミー権力者たちの無理解、他の科学者からの厳しい批判を乗り越えて彼らは研究を続け、ついに「放射能」と呼ばれる不思議な性質を持つ金属ラジウムを発見します。苦しい研究生活の中、ピエールとマリは、かけがえのない絆で結ばれていくのです。

● 平安女学院校友会会員の皆様へ ●

校友会「DCゴールドカード」はお持ちですか？

年会費永久無料のクレジットカードに、ぜひご加入ください



● ゴールドカード

● ゴールドカードには次のような特典があります。 ●

- ① ゴールドカード年会費通常10,000円が **永久無料**
- ② ポイントをためると素敵な **プレゼントと交換**
- ③ ショッピング補償保険に **自動加入**
- ④ 海外旅行傷害保険 (最高5,000万円) に **自動加入**
- ⑤ 空港で搭乗前後の **ラウンジサービスの利用** など

加入ご希望の方は、校友センターまでご連絡ください。申込書をお送りします。

校友会会員とは？

校友会は、本学院卒業生と教職員を会員の中核とし、平安女学院を愛する多くの方々の力を結集させて、母校発展の支援と会員相互の親睦を図ることを目的としています。会員は、

- 第1号会員** 平安女学院大学・短期大学部・高等学校・中学校および各学校の前身校の卒業生
- 第2号会員** 本学院の教職員 (但し、第1号会員と重複する者は、第1号会員とする)
- 第3号会員** 常任幹事会で推薦を受け、入会を許可された者
- 賛助会員** 平安女学院を支援する法人または個人

校友会会員証カード

校友会では、校友会会員証カードを発行しています。
校友会会員の皆様には、会員証により下記の特典をご利用頂けます。

- 特典1** 学院独自クレジットカード (DC-VISAゴールドカード) に加入できます。
- 特典2** 平安女学院幹旋商品の割引
- 特典3** 図書館の利用 (平安女学院大学京都キャンパス・高槻キャンパスとも)
- 特典4** 食堂の利用 (平安女学院大学京都キャンパス・高槻キャンパスとも)



● 会員証カード

校友会会員証の発行、校友会DCゴールドカードの「申し込み書」を希望の方は下記までご連絡ください。

〒602-8013 京都市上京区烏丸通下立売西入 平安女学院 校友センター
TEL 075-414-8162 kouyukai@heian.ac.jp

教育研究強化事業募金

教育研究強化事業募金および貸与奨学基金へのご支援をお願いしましたところ、多数の皆様からご寄付を頂戴いたしております。ここにご芳名を掲げ、深く感謝の意を表します。

2013年1月1日～5月31日
までのご入金分(入金日順)

◆保護者 ◆教育研究強化事業募金
平中松志青秋尾楨吉内 ◆保護者
井嶋本田木山崎 本田 義
正信秋光裕哲正俊弘義
仁裕広則治治和一文昭

佐多俵麦杉矢福敷益山中中鈴内長北山新岩林桑小白宮山小松前中松鳥末生嶋加竹
伯田 谷内田島村田崎田江木海谷口本 崎 畑川井田田池田川田居永田川藤中
彰和克卓 正一一 世泰典秀広律也正貴英順敦一康 創行二義巳寿康代一博剛公
洋彦己也修典浩俊修喜司生明利男子一博俊一信夫雄潤一弘郎明緒春宏子郎己也一

原西東近太松安最濱石高甲高原丸吉青山澤田森川丸長藤山山古高里甲中後竹田坂
田川 藤田田田上田橋橋斐田岡岡木田近中 村岡嶺原本本村杉 山路藤下中本
睦文信達造成正浩雅幸佳 幸昌菊 智秀次要市 孝 悦悦 智圭輝志達勝郁 知
夫雄次彦史弘治明彦守史究雄德三浩裕平郎次朗章弘圭子雄博之吾幸子雄彦也互栄

猪小柴中畠徳初中内玉中竹福杉荒勝中松後山尾玉宮新細篠石能菱伊米太河濱影柊
倉島垣井中田田房田置根友島本川本村芝藤本上中本宅見崎見勢本藤原田原 岡本
泰裕博 正健和淳真利久淑正裕隆精和慶寿高利稔幸恭宗友清英禎雅 宣 美勇信
治子一章徳次弘司哉成典晴敏子行志子明之裕加久樹生弘一浩雄恒治均子誠鈴二二

石庄登福大川木山山奥村青松竹松藤金那稻八楞熱西阪吉芦羽船永田三平中吉花小
田司 島伴瀬村本本村田谷村本野原丸谷垣木田村本太越尾口村木嶋田光片
恭雅俊伸邦孝一 高功豊英和博直謙公典陽信尚 香浩紳卓艶裕太広健邦広 国
治好也呉男明也哲史次実生博美子一一史子代子謙子之吾也子司郎美治夫己優博勤

◆客員教授 ◆現教職員
井上文鴻堂 校友会 中学高等学校保護 山北田林岩大辻岩君長北志田阿戸加曾山露三松郡延正吉伊三竹松小吉森山森栗田 ◆現教職員
井上文鴻堂 校友会 中学高等学校保護 岡村中 田峯村淵島山村澤邊部田地我田口木園 原司田藤浦永山寄さ 天修千康
(敬称略) 和子
廣 智光次美善 秀敏康織良志芳正恭百正洋 正麻健美基利ゆ 研宏士里文
和 繁寛子正郎子美茂子博弘恵一穂子雄子合博二玲海子一江子二夫り



舞妓をはじめ、美しい日本女性の姿を繊細なタッチで描かれている西陣在住の日本画家・亀山玲子画伯より、舞妓を描いた絵画、「映(えい)・12号」を本学にご寄贈頂きました。4月18日(木)、教職員、学生、約70名が参列して除幕式が執り行われ、山岡景一郎理事長より感謝状が贈呈されました。亀山画伯は、「このような立派な除幕式を開催して頂き、大変光栄に存じます。」と、述べられました。

舞妓の絵画を
ご寄贈いただきました

平安女学院 2012年度決算の概要

2012年度の決算については、左表の決算書類（資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表）のとおりで、2013年5月28日開催の理事会において承認され、評議員会に報告し、意見をお伺いしました。

〔帰属収支差額〕
当年度の「帰属収支差額」（帰属収入合計－消費支出合計）は22百万円の支出超過となりました。
ただ、「消費支出合計」の中には減価償却額として、教育研究経費と管理経費の合計135百万円を計上しております。
支出超過の22百万円および2012年度借入金返済額86百万円の合計108百万円は、減価償却額135百万円の範囲内に収まっているため、決算状況はほぼ良好と言えます。

1. 消費収入 （1）帰属収入

- ①学生生徒等納付金は、合計1,100百万円で、前年比63百万円の減少です。
学生生徒園児数（2012年5月1日現在）は、前年比61人の減少の1,119人です。
- ②寄付金は、合計46,252千円、前年比1,660千円の増加です。学院関係諸団体では、平安女学院校友会5,000千円、大学後援会2,432千円、中高保護者会961千円、そして一法人より受配者指定寄付として2,000千円の寄付を頂きました。現物寄付は、机・椅子等で25,184千円を頂きました。
- ③補助金は国庫補助84,195千円と地方公共団体補助等321,507千円の合計405,702千円で、前年比19,516千円の減少です。
- ④上記のほかに、手数料15,015千円、資産運用収入3,795千円、事業収入38,537千円、雑収入49,233千円があります。

以上により、「帰属収入合計」は1,658,179千円です。

（2）基本金組入額
建物工事・機器備品・図書の取得等により、76,539千円を組入れました。

帰属収入から基本金組入額を差引いた「消費収入合計」は、1,581,640千円です。

2. 消費支出

- ①人件費は、資金収支計算書の人件費から退職給与引当金の取崩額2百万円を差引いた964百万円で、前年比67百万円の減少です。
- ②教育研究経費は、資金収支計算書の教育研究経費に減価償却額119,033千円を加えた454,578千円で、前年比1,772千円の増加です。
- ③管理経費は、資金収支計算書の管理経費に減価償却額15,822千円を加えた225,918千円で、前年比3,207千円の増加です。
- ④借入金等利息は31,333千円で、前年比2,210千円の減少です。
- ⑤上記のほかに資産処分差額2,980千円、徴収不能引当金1,373千円があります。

以上により、「消費支出合計」は1,679,699千円です。

3. 当年度消費収支
「消費収入合計」1,582百万円から「消費支出合計」1,680百万円を差し引いた当年度の「消費収支」は、98百万円の支出超過です。

2012年度 施設設備関係の主な整備状況について

- （1）大学・短期大学部では、カラー印刷機の購入、空調関係の改修整備等に加え、卒業生からのご寄付により図書・コンピュータネットワーク装置の更新をしました。
- （2）中学校・高等学校では、1・2号館のトイレ工事、電子黒板、体操マットの整備に加え、保護者の方からのご寄付によりエディホールの備品等を購入しました。

教育・研究にご支援を —寄付金をお願い—

将来に向けて教育施設設備の充実、研究環境の整備のため、「平安女学院の教育研究強化事業」の募金活動を継続してまいります。

本学院の教育活動に対する皆様のご理解と、より一層のご支援を引き続き、お願い申し上げます。

2012年度資金収支計算書 （2012年4月1日から2013年3月31日） （単位:千円）

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	予算額	決算額	差 異	科 目	予算額	決算額	差 異
学生生徒等納付金収入	1,109,973	1,099,644	10,329	人 件 費 支 出	979,825	965,533	14,292
手 数 料 収 入	11,980	15,015	△3,035	教育研究費支出	336,321	335,544	777
寄 付 金 収 入	20,300	21,068	△768	管 理 経 費 支 出	211,580	210,096	1,484
補 助 金 収 入	384,088	405,702	△21,614	借入金等利息支出	31,327	31,333	△6
資産運用収入	2,800	3,795	△995	借入金等返済支出	85,636	85,636	0
事 業 収 入	39,684	38,537	1,147	施 設 関 係 支 出	7,000	6,001	999
雑 収 入	8,790	12,932	△4,142	設 備 関 係 支 出	30,777	23,364	7,413
前 受 金 収 入	212,001	236,521	△24,520	資 産 運 用 支 出	80,450	80,750	△300
そ の 他 の 収 入	537,520	523,748	13,772	そ の 他 の 支 出	578,203	548,158	30,045
資金収入調整勘定	△227,409	△227,900	491	予 備 費	20,000	—	20,000
前年度繰越支払資金	566,127	566,128	△1	資金支出調整勘定	△38,166	△44,309	6,143
				次年度繰越支払資金	342,901	453,085	△110,184
収入の部合計	2,665,854	2,695,190	△29,336	支出の部合計	2,665,854	2,695,190	△29,336

2012年度消費収支計算書 （2012年4月1日から2013年3月31日） （単位:千円）

消 費 収 入 の 部				消 費 支 出 の 部			
科 目	予算額	決算額	差 異	科 目	予算額	決算額	差 異
学生生徒等納付金	1,109,973	1,099,644	10,329	人 件 費	979,825	963,517	16,308
手 数 料	11,980	15,015	△3,035	教育研究経費	455,418	454,578	840
寄 付 金	22,300	46,252	△23,952	（うち減価償却額）	(119,097)	(119,033)	(64)
補 助 金	384,088	405,702	△21,614	管 理 経 費	227,102	225,918	1,184
資産運用収入	2,800	3,795	△995	（うち減価償却額）	(15,522)	(15,822)	(△300)
事 業 収 入	39,684	38,537	1,147	借 入 金 等 利 息	31,327	31,333	△6
雑 収 入	41,175	49,233	△8,058	資 産 処 分 差 額	3,058	2,980	78
				徴収不能引当金繰入額	1,500	1,373	127
				予 備 費	20,000	—	20,000
帰属収入合計	1,612,000	1,658,179	△46,179	消費支出合計	1,718,230	1,679,699	38,531
基本金組入額合計	△65,612	△76,539	10,927	当年度消費収支差額	△171,842	△98,059	
消費収入の部合計	1,546,388	1,581,640	△35,252	当年度帰属収支差額	△106,230	△21,520	

貸借対照表 （2013年3月31日現在） （単位:千円）

資 産 の 部				負債・基本金・消費収支差額の部			
科 目	本年度	前年度	差 異	科 目	本年度	前年度	差 異
固 定 資 産	6,982,534	6,989,734	△7,200	固 定 負 債	1,539,837	2,070,254	△530,417
（1）有形固定資産	6,683,337	6,764,616	△81,279	流 動 負 債	818,142	391,066	427,076
（2）その他の固定資産	299,197	225,118	74,079	基 本 金	10,574,426	10,497,887	76,539
流 動 資 産	473,758	591,418	△117,660	消 費 収 支 差 額	△5,476,114	△5,378,055	△98,059
合 計	7,456,292	7,581,152	△124,861	合 計	7,456,292	7,581,152	△124,861

※すべての計算書の金額は千円未満を四捨五入しています。



PUBLICITY NEWS

本学院がメディアに取り上げられた主なニュース

2012年
12月

アグネス・イルミネーション

- テレビ：NHK「京いちにち」
- 雑誌：じゃらん12月号・1月号
- WEB：京都新聞

クリスマスにオープンキャンパス

- 新聞：京都新聞
- 「今年のクリスマスは教会に行こう」特集で、
聖アグネス教会を紹介
- 雑誌：京都COLON

2013年
1月

地元の施設を市民に開放—大学図書館

- 新聞：リビング北摂東

山岡学長にインタビュー

—社員教育が必要ない学生を育成

- 新聞：リビング北摂東

学生が考えたユニークな宿泊プランで 京旅館を活性化

- テレビ：NHK「京いちにち」
NHK「ぐるっと関西おひるまえ」

地元ママにおすすめの子育て広場「どんぐりの森」

- 新聞：JR西日本子育て応援情報紙
「とんとことん」

2013年
2月

高槻市の記念誌の誌面で、 大学高槻キャンパスを紹介

- 冊子：保存版ふるさと高槻

2013年
2月

素顔の京都の魅力

—アグネス・イルミネーションを紹介

- テレビ：NHK BSプレミアム「まるごと知りたい
A to Z 素顔の魅力に会える冬の京都」

2013年
3月

平安女学院で囲碁女流名人戦

- 新聞：産経新聞、週刊基

山岡景一郎理事長・学長を再任

- 新聞：朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、
京都新聞

京都桜特集で、有栖館を紹介

- WEB：わかさ生活「京都桜特集2013
ほっこり京都生活」

2013年
4月

靴下の百年史と重ね、 学院の初代セーラー服を紹介

- 冊子：奈良県広陵町靴下組合百年史

千玄室大宗匠と教育協定を調印 茶道を大学の必修科目に

- 新聞：読売新聞、京都新聞

2013年
6月

市民と学の交流訪問—平安女学院・どんぐりの森

- 新聞：きつつき6月号

有栖川宮旧邸を保存—平安女学院大学

- 新聞：教育芸術新聞

編集後記

平安女学院大学がついに、3学科そろって就職率100%を達成しました。もともと保育科の100%をはじめ、就職率の高さは定評でしたが、この春初めての卒業生を輩出した子ども学部も含めての「100%」という数字の重みは格別のものがあります。

「一人ひとりに手厚く温かい」というキャッチフレーズが文字通りのものであったことを、卒業生自らが証明してくれたのです。まだまだ改革の目標は、はるか上にあります。しかしどんなに高い頂も、確かな一歩からです。この機に、山岡理事長・学院長・大学学長のもと、全教職員が一致結束して、未来志向の「コンパクト・グッドネス学院」を目指す決意を新たにしたいと思います。

カバー ストーリー Agnes vol.68

いつも京都・大阪に分かれて学んでいる大学・短大の学生たちが、5月25日(土)に高槻キャンパスで一堂に会いました。全学の学生が学長や教職員と一緒に汗を流す、ほのぼのとすべ一日。大学では珍しい、うらやましがられるひとときです。

学院 これまでの歩み

2013年



これからの行事予定

2013年

